



足立入谷小だより

令和元年11月1日

足立区立足立入谷小学校

校長 添野 誠

毎日前進 今後は家庭学習を

校長 添野 誠

先月号で、子どもたちにがんばってほしいことをいくつか書きました。その後、各学年クラスでは、子どもたちが力強く学習することを願い、先生たちも頻りに指名して子どもたちに最後までしっかりと発言させる指導を行ってきました。その結果、子どもたちの発言力が向上し、強く学ぶ姿が見られるようになりました。

さらに、4月当初は良かった「あいさつ」が、やや弱くなっておりましたので、この点も再指導を行いました。すると、その日から彼らのあいさつの意識、表情、声が変わり始めました。中でも、私が通勤途中に出会った子（4・5年生）たちは、私の背中から「校長先生、おはようございます。」と声をかけてきました。町中でうちの子たちがあいさつをしてくるのは初めてです。本当にうれしかったです。

うちの子たちは、きちんと納得いくように指導すれば、すぐに変わるのでですね。さすが、朝会や集会に自分たちで行進して、静かに整列して待つことができる子たちです。やはりすばらしい資質をもった子たちです。

さて、そういう子たちをさらに強くするのが私たちの務め。今後は「家庭学習」を確実に取り組む子に育てたいと思います。

本来の家庭学習は、宿題以外の課題を自分で見つけ、「学年+10分間」程度の時間を家で学習することを指します。しかし、本校では「宿題」も家庭学習として取り扱うことにします。これならば、何を学習しているのかわからない、という子はいないはず。要は、これからは全校で出された宿題は、全員が確実にやることを大目標にします。現在残念ながら、学年クラスによっては30%以上が「忘れました」、「できませんでした」等を理由としてやってこない実態があります。これは看過できません。

子どもたちには、「家庭学習（宿題）」は、スポーツ選手で言えば自主トレーニングと同じ。トレーニングしない選手に力がつくはずはなく、勝てるはずもない。稽古をしないお相撲さんなどいない。」と指導します。学校で学んだことを定着させ、さらに力を付けさせるには、家庭学習を除いてはあり得ないと考えております。全国で学力トップの秋田県は家庭学習普及も最高の県であることが、如実に物語っております。

基本的には、子どもだけでできるようにしつけて参ります。ですので、ご家庭では「宿題をやってからテレビにしない。」等の約束を確立させ、多少口を酸っぱくさせながらも、確実に取り組むことにご理解やご協力をお願いしたいと存じます。また、学校としても、万一忘れた場合は毅然として、再度宿題忘れをしないように指導して参ります。（病欠欠席は別です）では、11月からすぐに全校で指導を開始いたします。

11月の主な行事予定

日	曜	行 事	スマ	16	土	学芸会（保護者鑑賞日）	×
1	金	開校記念日		17	日		
2	土			18	月	振替休業日	
3	日	文化の日 親子でふれあい読書デー		19	火	全校朝会 安全指導・点検 学芸会后片付け	○
4	月			20	水	B	○
5	火	全校朝会 秋読書始 OP 学芸会ポスター届 (6)	○	21	木	読み聞かせ集会	○
6	水	B クラブ 校内研修	○	22	金	漢字・計算検定 和菓子作り体験(6)	○
7	木	音楽朝会 歯チェック(2) 学芸会係打ち合わせ②	○	23	土	勤労感謝の日	
8	金	読み聞かせ	○	24	日		
9	土	土曜授業 フラワーランティヤ 引取り訓練 クリーン作戦 P研修	×	25	月	全校朝会 狂言鑑賞 持久走月間始 エコキャップ運動	○
10	日			26	火	B 朝ごはん(4) 小中連携研修会	○
11	月	全校朝会	○	27	水	B 委員会 職員会議	○
12	火	朝ごはん(2) 読み聞かせ 学芸会係打ち合わせ③	○	28	木	給食感謝集会 PR 集会予行	○
13	水	B4 区小研	○	29	金	漢字・計算検定 秋読書終 仲良し班活動	○
14	木	学芸会リハーサル	○	30	土		
15	金	学芸会（児童鑑賞日）	×				

※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 Sはスクールカウンセラー配置日 OPはオリーブツクティム実施日

プラネタリウム教室・二分の一人成人式 4年担任 笠原 慎太郎



10月4日(金)にプラネタリウム教室のために、西新井ギャラクシティーへ行きました。貸切り状態の広々とした空間の中で、太陽の動き、月の動き、星の動きを学習しました。自分の星座についての話になると、口々に「自分の星座だ!」と興奮していました。都市部に住み、なかなか星を見る機会が少ない中、貴重な体験となりました。

翌日5日(土)には、体育館で二分の一人成人式を行いました。「自分史新聞」を作ったり、「十年後の自分へ手紙」を書いたりする中で、今までの成長を振り返りました。その中で自分を支えてくれた家族の大切さに気付き、当日の式では感謝の気持ちを家族に伝えることができました。お家の方からも手紙をいただき、新たな絆が生まれたのではないかと思います。

豊富な秋の芸術体験(アウトリーチ・芸大連携) 特活担当 西浦 紀子

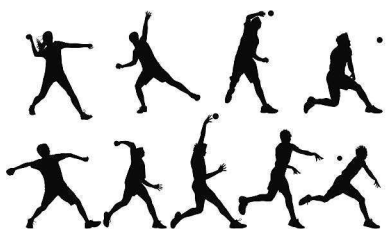


10月8日に本校体育館でアウトリーチコンサートが行われました。これは東京文化会館の事業のひとつで、子供たちに手の届く近いところで生演奏を聴かせてくださるという企画です。バイオリン2人とビオラとチェロの4人で美しい弦楽四重奏の響きを聴かせてくださいました。子供たちは本物のチェロの大きさに驚き、アラジンやトトロの演奏に大喜びでした。

また、10月28日には、毎年行われている東京藝術大学連携事業の音楽鑑賞教室が行われました。今年は4人の打楽器奏者が来てくださり、スネアドラムのアンサンブルや、マリンバ・ビブラフォーンの演奏を聴かせてくださいました。一人でマレット4本を使うの演奏には本当におどろき、最後は、一緒に「さんぽ」を楽しく歌うことができました。



ミズノ投げ方教室 3年担任 村上 啓太



10月17日(木)に3年生から6年生まで投げ方教室を体験しました。大手スポーツメーカーである株式会社ミズノの方々に来ていただき、投げるために必要なことや遠くに飛ばすコツなどを教えていただきました。ミズノの方々が開発した投げる力を鍛えるために特化したボールを使い、楽しみながら学習していました。子どもたちはボールを見るなり、「なんだこのボール!イボがある!」と興味津々にボールに触っていました。指の感覚を鍛えるためにボールにイボがついていて、子どもたちは、自分でボールのイボを触ったり、友達と体をマッサージし合ったりして感覚を鋭くしていました。ボールを空中に投げてキャッチしたり、ボールを転がしてキャッチボールしたり、投げる前にたくさんボールに触れることでボールの扱いに慣れ、遠くに投げることができるそうです。今回のボールを使うことで、実際に体力調査をした時よりもたくさん子どもたちが遠くに飛ばすことができていました。

今年度、本校はアワード校に選ばれています。アワード校として、投げ方教室はもちろん狂言鑑賞教室などたくさんの体験を通して、競技のこと、日本の伝統文化のこと、世界の国々についても学習していきます。足立入谷小学校のみんなと2020年の東京オリンピック・パラリンピックを知り、大会を盛り上げていきたいと考えています。

